

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/01/26

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.73	-0.02
JPY/THB	0.2525	0.0010
USD/JPY	129.59	-0.58
EUR/THB	35.73	0.07
EUR/USD	1.0916	0.0029
USD/CNH	6.772	-0.012
SGD/THB	24.93	0.11
AUD/THB	23.26	0.18
USD/INR	81.59	-0.13
USD Index	101.64	-0.28

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.972	0.022
10Y (THB)	2.466	0.010
5Y (USD)	3.545	-0.030
10Y (USD)	3.442	-0.011

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,942.6	7.2
WTI (Oil)	80.15	0.02
Copper	9,314.5	0.0

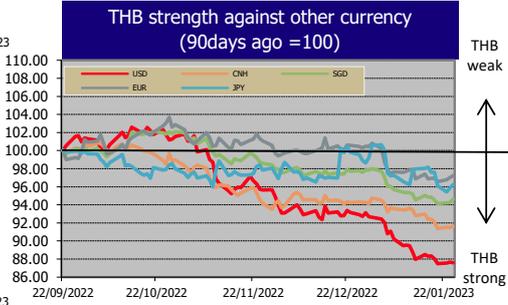
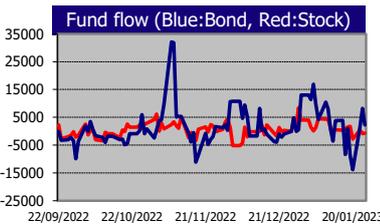
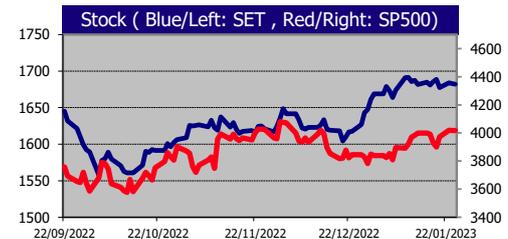
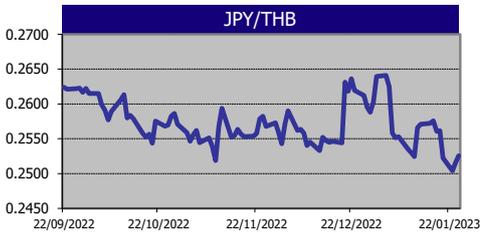
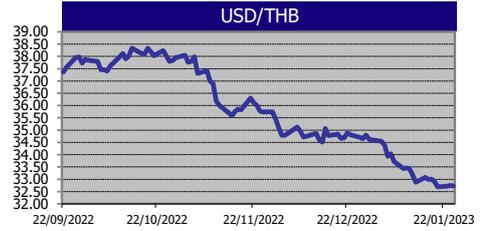
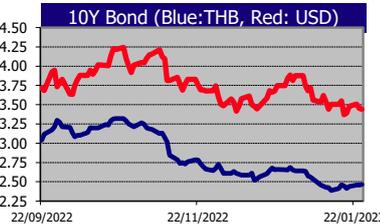
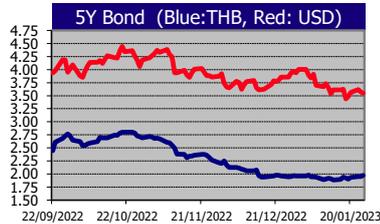
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,682.11	-0.83
NIKKEI (JP)	27,395.01	95.82
DOW (US)	33,743.84	9.88
S&P500 (US)	4,016.22	-0.73
SHCOMP (CN)	3,264.81	0.00
DAX(GER)	15,081.64	-11.47

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(670)	232.9
Bond net flow	2,283	-5957.9

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは狭いレンジでの推移に留まった。32パーツ台後半でスタートしたドルパーツは、バンコク時間午後にはタイ中銀(BOT)による金融政策委員会(MPC)の結果公表を控える中、上昇する場面が見られるも、32パーツ後半のレンジを抜けることはなく、同水準での推移が継続。注目のMPCでは4会合連続となる0.25%の利上げが決定され、声明文において、今年の輸出の落ち込みを見込むものの、観光業の回復・個人消費の拡大に伴うタイ経済の拡大継続、インフレの鈍化予測が示され、引き続き段階的で慎重な金融政策を行うことが示唆された。利上げ幅自体は事前の市場予想通りであり、発表後のドルパーツ相場は大きな反応はなく、その後も32パーツ台後半での推移が継続。海外時間にカナダ中銀の会合結果が公表され、次回以降の利上げ停止が示唆された場面では米金利低下・ドル安の流れの中でドルパーツも下落するも、レンジ内での推移に留まり、結局32.73レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は下落した。130円台前半でスタートしたドル円は、実需のドル買いに130円台半ば付近まで上昇するも、その後はバンコク時間終盤にかけて米金利が低下する動きに上値重く推移。海外時間に入ると、カナダ中銀が市場予想通りの利上げを行うも、次回以降の利上げ停止を示唆したことで、その影響が米金利に波及し、ドル円も一時129円台前半まで下落する場面を見せた。その後、終盤には129円台後半まで反発する場面も見られたものの、130円台まで戻すには至らず、結局129.59レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日のタイ中銀金融政策決定会合においては、事前予想通り、政策金利1.25%→1.50%への引き上げが全会一致で決定されました。今年に入ってから、マレーシア中銀による予想外の金利据え置きなどがあったため、タイ中銀においても、近い将来における利上げサイクル終了示唆があるかに注目が集まってきましたが、結果として、今後も利上げが継続される姿勢が示されました。タイ中銀は、今後、中国人観光客がタイに戻って来ることによる観光業へのプラス効果を大きく見込んでおり、これにより経済成長のダウンサイドリスクが小さくなったと同時に、インフレのアップサイドリスクが高まったと分析しています。またタイ中銀は、東南アジアの中銀の中でも、利上げ開始が遅かったこともあり、利上げサイクル終了示唆はまだ時期尚早だったということだと思います。引き続きタイパーツは買われやすい展開を見込みますが、一方、年明け以降、米金利を中心に金利低下傾向が鮮明だったため、世界的に市場金利と中銀スタンスとの乖離がやや大きくなっている様に感じます。リスクシナリオとして、米金利上昇に伴う米ドル巻き戻し買いは意識しておきたいところです。(池澤)